

事業コード	H19-建-新-03		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道特殊改良一種事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改良(バイパス)		班 名	企画・高速道路班 (tel) 018-860-2485
路線名等	一般国道108号		担当課長名	加藤 修平
箇所名	湯沢市秋ノ宮		担当者名	主幹兼班長 石山 良英
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	03	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率

## 1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H27 (8年)		総事業費	14.5億円	国庫補助率	5.0/10	
事業規模	延長L=1,720m、幅員(構成)W=6.0(11.0)m、(1.25-6.0-1.25-2.5)m、歩道無部W=6.0(8.5)m						
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、宮城県石巻市を起点とし湯沢市を経て由利本荘市に至る幹線道路であり、鳥海・雄勝地域の観光を支援する観光道路の機能を有するほか、日本海側と太平洋側を横断的に結んでおり、仙台圏と産業・経済の地域間交流を促進する重要な路線である。またバス路線にも指定されており、地域内交通を支える生活道路にもなっている。しかし当該区間は、通学路指定路線であるにもかかわらず幅員狭小(W=5m)で歩道も無いため、大型車のすれ違いや歩行者の安全確保に支障をきたしている。広域的な幹線道路として、また地域内を支える重要な生活道路として早急に整備する必要があることから、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>現況：交通量2,053台/日(ピーク交通量5,818台/日)、大型車(混入率41.3%、交通量848台/日)大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援)            第一次緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理の充実)            通学路における歩道未整備箇所の解消(安全な生活環境の確保)            地域住民、道路利用者の安全性確保(事故率102件/億台km)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度以降
	事業費		1,450,000	50,000	150,000	150,000	1,100,000
	経費内訳	工事費	900,000			30,000	870,000
		用補費	350,000		130,000	110,000	110,000
		その他	200,000	50,000	20,000	10,000	120,000
	財源内訳	国庫補助	725,000	25,000	75,000	75,000	550,000
		県 債	326,000	11,000	33,000	33,000	249,000
その他							
一般財源		399,000	14,000	42,000	42,000	301,000	
事業内容			路線測量 用地測量 詳細設計	用地補償費 構造物設計	用地補償費 改良工	用地補償費 改良工 舗装工	
調査経緯	平成14年度 道路概略設計 平成18年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画「第3期実施計画」における施策「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	南の玄関口としての交流促進と広域観光の推進 (あきた21総合計画「第3期実施計画」：湯沢雄勝地域)						
事業を取り巻く情勢の変化	当該路線は本県と仙台圏と産業・経済の地域間交流を促進する重要な路線であり、大型車混入率が40%を超える物流の幹線であるにもかかわらず、幅員狭小で急カーブのうえ歩道がないため、交通事故が多発していることから、道路利用者の安全に支障をきたしている状況である(事故率102件/億台km)。また観光客数がH13年：49千人 H18年：83千人と大幅に増加している。						
事業効率把握の手法	指 標 名	路線整備率					
	指 標 式	整備率(整備済延長/路線実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	82 %		データ等の出典	道路統計年報		
	達成値 b	80 %					
	達成率 b/a	97 %		把握の時期	平成19年 4月		

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	日本海側と太平洋側を横断的に結ぶ広域幹線道路であるため、大型車混入率40%を超えている状況であるが、幅員狭小で急カーブのため大型車のすれ違いが困難であり、道路利用者の安全性確保や地域振興・活性化に影響を及ぼしている。 バス路線、通学路指定路線にもかかわらず、歩道もなく事故が多発しており、地域内の安全が確保されていない。(事故率102件/億台km)	31点
緊 急 性	仙台圏との産業・経済における活性化と文化交流の促進を支援する重要な路線であり、地域振興への影響が大きい。 学童児童や地域住民の安全確保のため、早急に整備する必要がある。 大型車混入率が40%を超える物流の幹線道路であるが、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難であるため、道路利用者の安全確保のため整備の緊急性が高い。	10点
有 効 性	第一次緊急輸送道路に指定されており、防災対策上、整備は有効である。 東北中央自動車道へのアクセス道路として、冬期においても安全な交通が確保できる。 鳥海地域や栗駒国定公園の観光拠点や秋ノ宮温泉郷への広域観光ルートであり、本整備により、温泉郷内周遊歩道ネットワークが構築されることとなり、積極的な地域活動(例：朝市の会、まちづくり市民団体)との連携など地域の発展に寄与する。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は1.56であり、効率性は高い。 ・総費用の現在価値12.2億円 ・総便益の現在価値19.2億円 近接現場の発生度を流用することにより、コスト縮減を図っている。	15点
熟 度	平成18年に湯沢市から当該地区の改良要望が出されている。 平成18年に秋の宮温泉組合、秋の宮商店会ほか2団体から早期着手の改良要望が出されている。	10点
判 定	ランク ( )	81点
	判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業は実施すべきである。</p>	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
<p>本県と宮城県を結ぶ広域幹線道路であり、物流や温泉などの観光の観点からも地域振興への寄与度の高い路線である。当該区間は狭小で急カーブもあり、大型車の交差に支障をきたし、歩道も含め整備の必要性は認められる。樹木に囲まれた温泉地の特性への配慮と、まちづくりに向けた地元団体との協議調整は継続すべきであるが、当該事業の実施は妥当と判断される。</p>			

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
<p>当該区間は大型車の割合が高く、幅員の狭小等により改良の必要性があり、当事業の実施は妥当と考える。</p>			

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
<p>事業の実施は妥当である。</p>			

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業箇所を国に新規要望する。</li> <li>・事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。</li> </ul>
--

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の対応方針を「可」とする。</p>
-----------------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H19-建-新-03 )

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (湯沢市秋ノ宮 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	17	17	2次改築事業については該当しない	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	12			
	・最小半径 < 100m	1箇所	7			
	・最急勾配 > 5%					
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0			
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18	14	2次改築は配点36点 2次改築は配点28点 2次改築は配点20点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点	
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	14			
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	10			
	・現道の事故率 50件	2件該当	6			
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3				
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0				
計			35	31		
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5		
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3			
	・地域振興プロジェクト					
	・ほ場整備等の他事業	該当なし	0			
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5		
	位置づけなし	0				
特有の課題の有無	あり	10				
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0	0			
計			20	10		
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	8		
		第2次輸送路	7			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
	秋田21総合計画	2施策以上該当	7	7		
	1施策該当	5				
	該当なし	0				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比(B/C)	1.0以上	10	10		
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	10	5		
		1,000台/日以上~5,000台/未満	5			
	1,000台/日未満	0				
計			20	15		
熟度	地元の状況					
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4		
		口頭要望あり	2			
		要望なし	0			
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3		
		用地反対	0			
地元への方針説明	あり	3	3			
	なし	0				
計			10	10		
合計			100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		